

【ラーケーション】

ラーケーションとは、「ラーニング (learning)」と「バケーション (vacation)」を組み合わせた造語で、余暇中に学ぶ行為を指す言葉です。愛知県が全国で初めて導入した制度で、公立の小中学校と高校などで、平日に年間3日の休みがとれるというものです。この制度は、2023年度の2学期以降に導入されました。

ラーケーションは、保護者の休暇に合わせて子供が学校を休んで、校外で体験や探究の学び・活動を行うことができます。ラーケーションの目的は、子供の主体的な学びや自己研鑽を促進するとともに、家族のコミュニケーションや絆を深めることです。活動は、自分で計画を立てる、学んだことを話し合う、振り返るの4つのステップを踏みます。ラーケーションの活動例としては、地域の史跡を巡る、公園の植物を調べる、農業体験をする、絵を描く、自然に親しむ、料理を作る、芸術に触れるなどが挙げられます。得た知識や感想は、学校に戻ったら、先生や友達に伝えることができます。ラーケーションで学んだことは、学校の授業とも関連づけることができます。

ラーケーションのメリットとして、子供たちが自分で学習内容を選び、実践的な体験をする機会が得られること。保護者と一緒に過ごす時間を増やす機会であること。校外での学習活動は、理論だけではなく、実践的なスキルを身につける機会であることなどが挙げられます。逆に、デメリットとしては、家庭環境によって学習内容や体験が大きく異なる可能性があること。学校の授業に遅れが生じる可能性があること。などが挙げられます。

ラーケーションは、学校だけではなく、家族や社会との関わりの中で学ぶことの大切さを教えてくれます。愛知県だけでなく、熊本県南阿蘇村など他の地域でも広がっています。

令和5年度 広報部 栃木県宇都宮市立築瀬小学校 副校長 石川 裕之

参考文献資料
愛知県ホームページ

教育用語解説



Educasphere 2024 Vol.13

発行 2024年6月10日
編集 全公教機関誌編集委員会
著作権所有 全国公立学校教頭会
会長 松野 博文
〒105-0002
東京都港区愛宕1-6-7
愛宕山弁護士ビル401号
電話 03-3436-4868
<https://www.kyotokai.jp>

印刷・製本 壮光舎印刷株式会社
表紙写真 (鎌倉散歩) photo by J.S.

編集後記

「ありがとうございます職場を作りました」以前の勤務先の校長先生がおっしゃっていた言葉です。どんな小さなことでも感謝の気持ちを忘れずに、人に伝えられることはとても素晴らしいことだと思います。毎日の業務に追われ、人に感謝することを忘れがちですが、今になってみるとこの言葉がとても大切なことだと改めて感じています。たった5文字の「ありがとう」が、人との関係を豊かにする、職場の雰囲気を温かくする。言葉の力は、とても偉大であると感じています。

令和6年度がスタートして早くも2ヶ月が経ちます。怒涛の2ヶ月だったと思います。そのような中で、どんな小さなことでも「ありがとうございます」がいつでも言える職場の雰囲気を作っていきたいと考えています。これからもこの機関誌を通じ、お互い切磋琢磨していけると嬉しいです。

令和5年度 全公教副会長 埼玉県北本市立西中学校 教頭 柳 哲也